

市政参画

共に作る「環境基本計画」

市の環境に関する施策を総合的に示す「環境基本計画」。
その策定委員10人を公募します。

市では、平成18年度、19年度の2カ年間で「安曇野市環境基本計画」の策定を計画しています。

この計画は、安曇野市の環境の望ましい将来像と目標を明らかにし、市民・事業者・行政すべての主体が、それぞれの立場で、または連携して行う環境の保全のための施策・取り組みを総合的かつ計画的に示すものです。

今日、私たちは、自然の減少と悪化、水や大気汚染、ごみやエネルギーの問題、地球温暖化問題など、さまざまな環境問題に直面しています。これらの環境問題を解決していくためには、私たち一人ひとりが、現在のライフスタイルを見直し、自主的・積極的

に取り組みを進めていくことが必要です。このような観点に立ち、行政だけでなく、実際に取り組みを進めていく市民や事業者の皆さんとともに、話し合い、考え、計画を作っていきます。

そこで、計画策定にあたる委員総数32人のうち10人を次の要領により公募します。

- 募集人員 10人以内（市選定委員会で選考します）
- 委員の任期 平成18年7月から平成20年3月まで
- 応募資格 市内に住所を有するか勤務する20歳以上の人で、平日昼間に開催する月1～2回程度の会議に出席できる人。ただし、次に挙げる人を除きます。
- （1）国および地方公共団体の

- 議会の議員
- （2）常勤の国家公務員および地方公務員
- （3）市の付属機関等の委員に3つ以上なっている人

■応募方法

- ①氏名②住所③連絡先④年齢⑤興味のある分野⑥会議参加にあたっての抱負⑦小論文を郵送、持参またはEメールで応募してください。小論文のテーマは「安曇野の環境保全のため私ができること」として、意見や提言などを800字程度で記述してください。

■募集期限

6月16日（金）

■その他

- ・市が規定する謝礼金を支給します。ただし、交通費はありません。
- ・この委員会の会議は、公開で行う予定です。
- ・ホームページにも詳細が掲載してあります。

■問い合わせ・応募先

〒399-8303 安曇野市

～監視連絡員14人を任命～

不法投棄を許すな！

不法投棄の早期発見とこれを防止する不法投棄監視連絡員の任命式が4月20日、穂高総合支所で行われました。任命された連絡員14人は各担当地区をパトロールし、地域から不法投棄に目を光らせます。皆さんも悪質な不法投棄の現場を発見した場合は、各総合支所までご連絡ください。



任命書を受け取る連絡員

穂高6658 安曇野市役所
市民環境部環境課（TEL 82・3131 FAX 82・6622）
〔Eメール〕
kankyou@city.azumino.nagano.jp
〔ホームページ〕
http://www.city.azumino.nagano.jp

外国籍市民

ポルトガル語で対応します

市人口の1.2%近くを占める南米出身の市民の生活相談に対応するため、ブラジル出身の相談員を配置しています。



↑平川 千夏（明科勤務：写真中央）
地域に在住する外国人と日本人との理解や交流を少しでも深められたら光栄です。

国籍や民族を超えて互いの文化の違いを認めながら、共に心豊かに生きていく地域社会が求められています。安曇野



↑ハケオ・アルベス（豊科勤務）来日して6年目です。安曇野が大好きで毎日北アルプスを見て元気をもらっています。

市には4月1日現在、2,363人の外国籍住民が暮らし、増加傾向にあります。
市では日本語がしゃべれないこれらの市民の皆さんが、安心して暮らすことができるように豊科総合支所、明科総合支所に外国人生活相談員を配置して相談に応じています。

国民健康保険、子どもの予防接種、入園・入学に関することなどお困りの人は、お気軽にご連絡ください（豊科総合支所：TEL 72・3111、明科総合支所：TEL 62・3001）。地域で関係する皆さんは、窓口の設置について、該当する外国籍の皆さんにお知らせください。また、各総合支所窓口ではポルトガル語版の「ごみカレンダー」や『広報あづみの』も用意してありますので、ご利用ください。

ペット

7,000頭のワンちゃん

犬は人間にとって大切なパートナー。市内の約7,000頭の犬が幸せに暮らせるよう、飼い主はマナーを守りましょう。

登録と注射は義務

現在、市内には約7,000頭の犬が登録されています。4月に実施した狂犬病予防集合注射には約4,800頭が注射に訪れました。
今回注射を受けなかった飼い犬は、6月以降、再度実施する予防集合注射を必ず受けてください。また室内犬であっても登録と予防注射は義務付けられています。
□なお予防注射は、1頭1頭別の注射器によって実施します。



1頭ずつ別の針で注射します

安心して予防集合注射をご利用ください。

フン害に憤慨

そよ風が素肌心地よい季節になり、犬と散歩を楽しむ人も増えてきました。動物とのふれあいは、心む情景です。一方、市役所にはフンの始末に関する苦情が、多数寄せられています。散歩中のフンは、飼い主が責任を持って、持ち帰りましょう。また、スコップや袋を持っていない人には声を掛けましょう。

迷い犬の問い合わせが増加

犬が逃げてしまう原因は、首輪やクサリの不備がほとんどです。日ごろから点検をお願いします。また、鑑札と注射済票を首輪につけておきましょう。万が一、迷い犬になった場合でも、飼い主がすぐに分かります。